

平成30年度尚志館高等学校自己評価表

尚志館高等学校

教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、各自の資質を高め、国や社会に貢献できる人間を育成する
教育目標	志を常に高く持ち、多様化する時代に即応した教育、変化する社会の要請に応える教育、知・徳・体の調和のとれた教育により、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する
努力目標	①学習指導を徹底し、学力の向上を図る ②生活指導を徹底させる ③きめ細かな進路指導の徹底により、学力・適性に応じた進学就職の実現を図る ④部活動の推進・強化

1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める	3.5	6学科それぞれの特色を生かした取り組みがなされているが、それが外部にうまく伝えきれておらず、入学者の増加につながっていない。今後は、もっと学科間の連携を図り、生徒がより充実した学校生活を送れるよう、改善を促し学校をよくしていきたい。そのためには、もっと教職員間の共通理解を図るようにしたい。

2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う	3.6	担任が其々自分の個性を生かした学級作り、学級運営ができてきている。また、副担任もサポートができてきていると感じる。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する 効果的な授業を行うために教材研究や研修を深める	3.7	学年・学科に応じた教材選択や授業展開の工夫を意識して取り組んだ。人数の多いクラスについて習熟度別に編成して授業をすることで、学力の向上に努め効果を上げることができたと思う。 研究授業を行ったり、見たりする中で新しい授業方法の発見があった。今後も研修等に積極的に参加してスキルアップを図りたい。
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実 学校行事の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる 効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する	3.4	生徒会は本部役員だけが活動しているように感じる。もっと一般生徒との連携が必要。また、職員も一部職員しか活動していないように思う。普段から生徒の自発的な取り組みがあれば、もっと学校に活気が出ると思う。 体育大会の応援演技の内容は、ほぼ生徒達で考えており、自主的な活動ができてきていると思う。体育大会・文化祭など、生徒の意見も取り入れ、生徒の意欲を引き出すような運営ができたと思う。また、学校行事の際、雨が多い1年であったが、しっかり対応できた。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒を育成する	基本的な生活の確立を図る 交通ルールの遵守、ネットモラルなど安全教育の徹底	3.5	早朝の校門指導や交通安全指導は、生徒指導部や若手職員の頑張り、1年を通して継続して行なわれており、容儀服装や挨拶の励行に大いに寄与している。 交通安全教育を実施しているが、専門課程生の交通事故が多発、自覚の足りない生徒いる。また、バイク通学生も、遅刻ギリギリに登校する生徒ほど、スピードを出す傾向が見られた。ネットモラルについての問題事案は起きなかったが、外部講師による講習会の効果があったと思う。
進路指導	進学・就職指導の充実	系統的・計画的な進路指導の実践	進路実現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う 生徒の能力や適性に合った進学・就職指導	3.6	進路指導部主催の行事運営や生徒に還元されるような仕事について積極的に取り組むことができた。大学入試に関して、センター試験の結果を受けての志望校決定において、判定も大事であるが本人の希望に基づいて、もっと難易度の高い大学に挑戦させ、それがうまくいっている。また、進路指導部の中での役割分担は明確で、計画的に運営がなされていた。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導の徹底 体育指導の徹底 防火・防災訓練 環境衛生の整備	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる 運動技能を高め、体力向上を図る 防災についての意識の高揚を図る 学習にふさわしい環境を整える	3.7	防火防災については、自衛消防組織や防火計画書を作成し、消火器の自主点検、消防設備の管理に努めることができた。また、学校の防災訓練、寮の避難訓練も予定通り実施できた。インフルエンザの流行時期に、マスク着用やうがい・手洗い等の予防により、感染の拡大がそれほどなくて良かった。年度後半、OB職員から講習を受けた担当職員による自主的な「花いっぱい」運動の取り組みがなされ、校内環境が明るくなった。
広 報	広 報	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成 中高連絡会・体験入学の実施 中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施 ホームページ・Eメールの管理 PTA・中学生の訪問受け入れ	3.7	大隅地区の高校が軒並み定員を割る中で、なんとか定員を確保できたのは広報活動の成果だと思うが、学科によっては定員を充足できなかった。少子化の中、今後はさらに厳しい状況が予想される。新しいアイデア（PR活動）で広報活動を充実させていく必要がある。また、本校の入試の在り方等も検討する時期にきているように思う。
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的な参加を奨励し、学習との両立を図る 活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	3.6	部活動生は部活動を頑張るだけでなく、学習にも意欲的に取り組み、両立させるのが望ましい。本校では、部活動生があらゆる面で学校を引っ張っていく存在であり、今それが良い方になっており、生徒達が、万事に前向きであると感じる。ただ、入部率が低いので、もっと入部者を増やすような取り組みを考えたい。
評 価				3.6	

